



カマはまだまだ燃えている カマボール2024

地図にない街、釜ヶ崎は、第二次世界大戦前から、貧しく身寄りのないひとびとの受け皿となり、戦後は政策によって高度経済成長を支える男性単身者が労働者として集約される寄せ場、さらに2000年以降は、高齢化する元労働者や、さまざまな理由により「ホーム」をはなれた住民が支えあう街として変貌をとげてきました。

その釜ヶ崎は、北に新世界のゲイタウン、東に飛田新地とそれぞれ性にまつわる地域と隣接し、労働者から「おかまさんに逢える場所」としても知られていました。こんにち、「クィア」といえば、かっこよく聞こえますが、その意味は「おかま」「変態」といった、社会から排除されてきたひとたちに投げつけられてきたことばにあたります。かつて「釜ヶ崎ギンザ」や「飛田本通商店街」にたっていた、「おかま」の男娼たちのすがたは、もう見られなくなりましたが、いまでも、「おかまさん」たちは健在です。

2月10日と11日の2日間、こうしたカマとクィアの関係をめぐる、映画上映会と座談会、地域参加型パフォーマンス・イベントが繰り広げられます。

2月10日(土) 17:30~21:30

『わたしの居場所:新世界物語』上映会 & 座談会「カマとクィアのキケンな関係」

会場 : プッテフィーカ(西成区花園北2-2-2 マンションコスモス1階)

上映会 17:30-18:50 『わたしの居場所:新世界物語』(77分, 監督 武田倫和, 2018)

座談会 19:00-21:30 「カマとクィアのキケンな関係」

登壇 鬼塚哲郎、鹿野由行、宮田りりい、ロカボを食べながらHIVを知る会(HIVカフェ)メンバー、ヴィヴィアン佐藤

2月11日(日) 13:00~17:00

「カマはまだまだ燃えている:カマボール2024」

会場 : 西成永信防災会館(西成区山王3丁目10-20)

出演 かずおちゃん、紙芝居劇むすび、たけちゃん、長谷康雄、メリーけいこ、大阪大学のみなさん、ほか

ゲスト ヴィヴィアン佐藤(アーティスト、ドラッグクィーン)、上田假奈代(NPO法人、こえとことばとこころの部屋:ココルーム代表)、田中均(大阪大学大学院人文学研究科教授)、紙芝居劇むすび

主催 大阪大学COデザインセンター、カマは燃えている実行委員会

カマはまだまだ燃えている カマボール2024

プログラム



2月10日(土) 17:30~21:30

前夜祭『わたしの居場所:新世界物語』上映会 & 座談会「カマとクィアのキケンな関係」

会場: プッテフィーカ(西成区花園北2-2-2 マンションコスモス1階)

かつての「おかまさん」たちの生きざまを語る伝説の「ひろ子ママ」を記録したドキュメンタリー映画『わたしの居場所:新世界物語』(武田倫和監督作品、2018年)の上映と、大阪・釜ヶ崎とクィアのかかわりの歴史を知るひとたちを交え、釜ヶ崎でHIVやLGBT、性に関わることを気軽に話せる場を作ってきた「ロカボを食べながらHIVを知る会(HIVカフェ)」による座談会を行います。

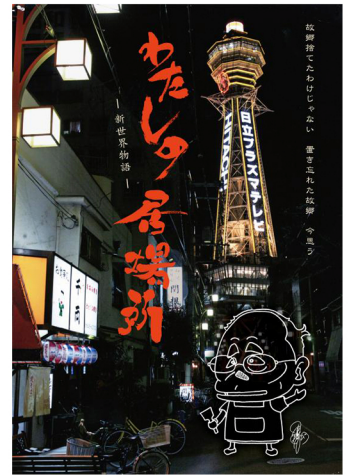
上映会 17:30-18:50 『わたしの居場所:新世界物語』

座談会 19:00-21:30 「カマとクィアのキケンな関係」

登壇 鬼塚哲郎、鹿野由行、宮田りりい、ヴィヴィアン佐藤

ロカボを食べながらHIVを知る会(HIVカフェ)メンバー

映画解説: 15歳で鹿児島から大阪に出て集団就職、新世界でオカマバーにスカウトされ、40歳を機に化粧をおとし、お好み焼き屋「千両」のひろ子ママとなる。新世界と鹿児島、ひろ子ママの生きてきた居場所をめぐる物語。監督・撮影・編集: 竹田倫和、出演: ひろ子ママほか、77分、2018年。



2月11日(日) 13:00~17:00

「カマはまだまだ燃えている: カマボール2024」

会場: 西成永信防災会館(西成区山王3丁目10-20)

「ボールルーム・カルチャー」とは、1970~80年代に故郷、ホームを追われてニューヨークに移り住んだ貧しいアフリカ系・ラテン系のLGBTのひとびとが、それぞれがしたい装いやメイク、立ち居振る舞いをとおして、差別や抑圧のなかで、けっしてなることのできなかった姿になりきって、パフォーマンスする集いのことです。かれらはたがいにケアを営み、ささえあいながら、望む姿でいまを生きる文化をつくっていました。

他方、新世界と飛田に隣接する釜ヶ崎は、さまざまな性的指向やジェンダー・アイデンティティのひとたちが生きてきた街であり、いまなお、それぞれの生き方をちからづよく模索するひとたちのパワーが炸裂しています。2021年3月には、「カマは燃えている—ココ(ボール)ルームでになりたい自分になる」と題して、釜ヶ崎の住民によるパフォーマンスが行われました。

今回、そのパワフルな出演者たちにくわえ、大阪大学でまなぶひとたちが、性、性別、職業、社会階層、能力を問わず、ひとつの場をともにし、それぞれの望む姿を演じります。「になりたい自分」を表現するパフォーマーたちといっしょに、観客としてカマボールを盛りあげましょう!

出演

かずおちゃん、紙芝居劇むすび、たけちゃん、長谷康雄、メリーけいこ、
大阪大学のみなさん、ほか

ゲスト

ヴィヴィアン佐藤(アーティスト、ドラッグクィーン)

上田假奈代(NPO法人、こえとことばとこころの部屋: ココルーム代表)

田中均(大阪大学大学院人文学研究科教授)

紙芝居劇むすび



主催 大阪大学COデザインセンター、カマは燃えている実行委員会